



TOTO

洗面化粧台・化粧鏡・ウォールキャビネット

LDAS050～075型(洗面化粧台)/LMAS050～075型(化粧鏡)
LWAS060～075型(ウォールキャビネット)

商品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1. 安全上のご注意

- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

警告

- **浴室など湿気が多い場所へ設置しない**
漏電により感電するおそれがあります。木部の膨潤、変形などによりキャビネットが外れてけがをするおそれがあります。
- **電源コードを傷つけない**
漏電および火災の原因になります。
- **コンセントは化粧鏡の裏面には設置しない**
化粧鏡が落下する原因になります。また、トラッキングによる火災の原因になります。
- **壁固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する**
キャビネットや化粧鏡が転倒、落下しけがをするおそれがあります。
- **電源はAC100Vを使用する**
AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。
- **水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず、「有資格者・指定業者」が行う**
火災や感電および水漏れの原因になります。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	○ は、してはいけない「禁止」内容です。		● は、必ず実行していただく「強制」内容です。
--	----------------------	--	-------------------------

● 取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

注意

- **湯・水を逆に配管しない**
水側でいきなり湯が出て、やけどをするおそれがあります。
- **洗面ボウルにかたい物を落とさない**
洗面ボウルが破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
- **洗面ボウルに強い力や衝撃を与えない**
洗面ボウルが破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
- **洗面ボウルの上のらない**
故障および転落・転倒してけがをするおそれがあります。
- **洗面ボウルに熱湯を注がない**
洗面ボウルが破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
- **取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する**
使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。
- **照明カバーは確実に取り付ける**
落下してけがをするおそれがあります。
- **凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う**
凍結破損で水漏れし家財などに損害を与える原因になります。
- **取り付け完了後、給排水管から水漏れがないかを必ず確認する**
水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。

2. 設置寸法

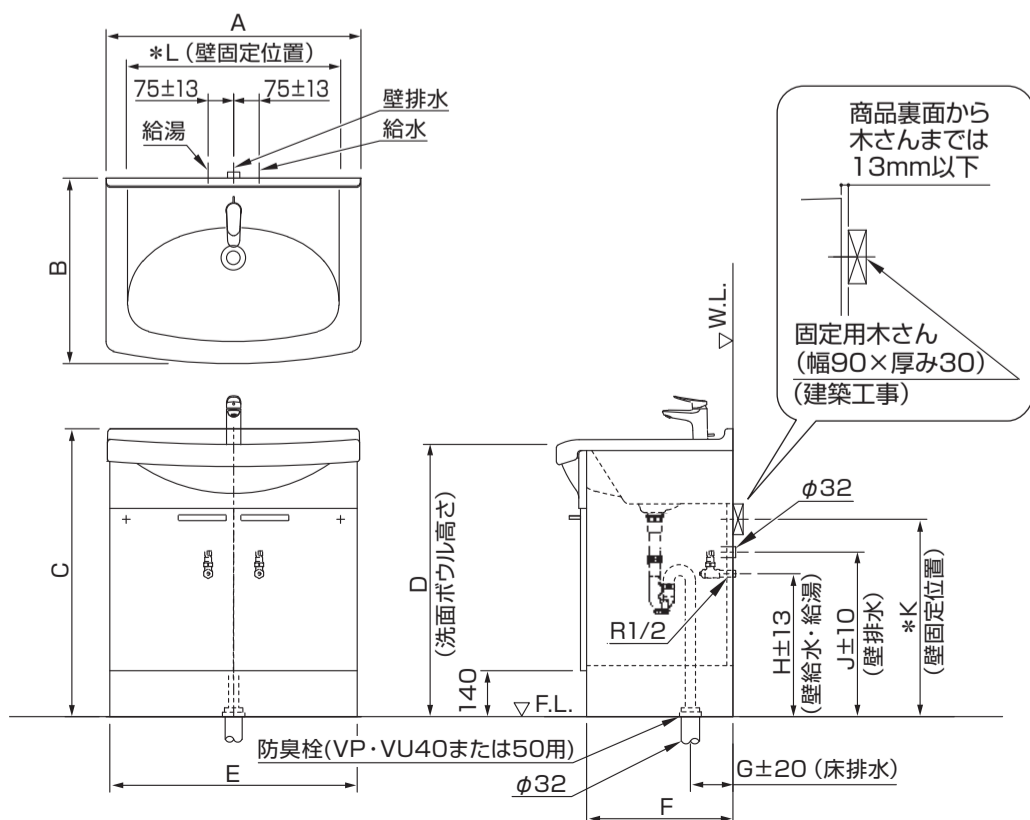
洗面化粧台【単水栓・エコシングル混合水栓の場合】

- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。
- 壁排水管は付属していませんので、必要な場合は別売品のL095をご購入ください。
- 機種により外観形状が若干異なります。
- *印は壁固定位置を示します。
- 止水栓は付属していませんので、必要な場合は右記品番の別売品をご購入ください。

【樹脂配管の場合】

- 樹脂配管をご使用の場合は、TSAS4BJZAを2個ご購入ください。

壁給水の場合

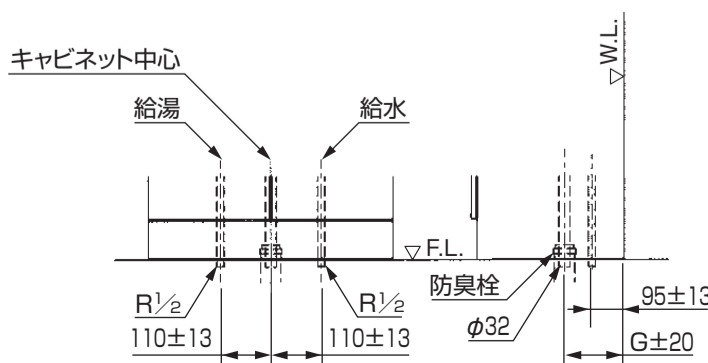


製品品番	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L
LDAS050A型	500	475	785	750	460	376	100	370	380	530	363
LDAS060A型	600	520	796	750	575	430	125	370	380	530	480
LDAS060B型			846	800				420	430	580	
LDAS075A型	750	545	796	750	725	430	125	370	380	530	630
LDAS075B型			846	800				420	430	580	

	あふれ面高さ	止水栓品番	数量
壁給水	750・800	LTL4C11U	2個
床給水	750	LTL4D13U	間口500 : 1個 間口600/750 : 2個
	800	LTL4D12U	2個

床給水の場合

※ LDAS050A型(単水栓)は給水のみです。



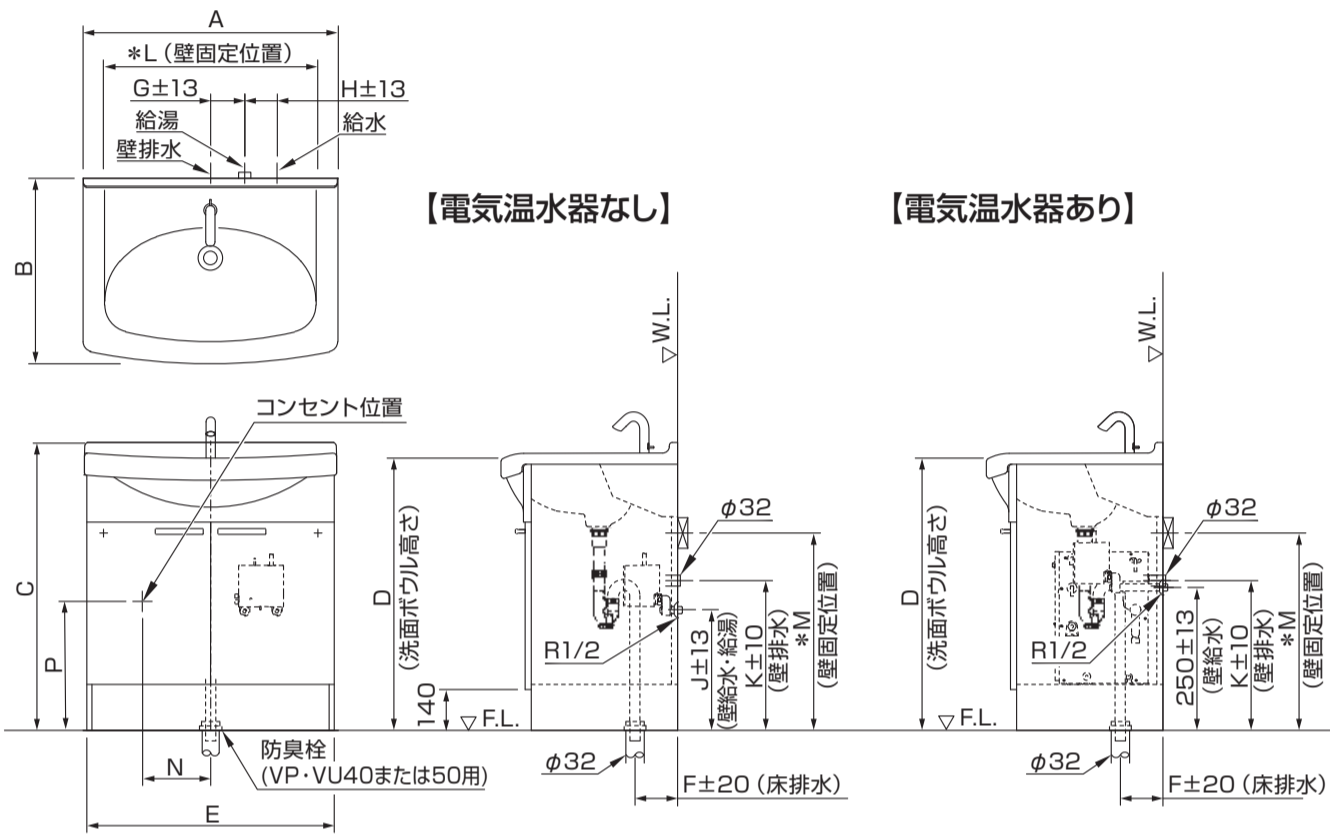
洗面化粧台【自動水栓の場合】

- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。
- 壁排水管は付属していませんので、必要な場合は別売品のL095をご購入ください。

- 機種により外観形状が若干異なります。
- *印は壁固定位置を示します。
- 樹脂配管はご使用になれません。

製品品番	A	B	C	D	E	F	電気温水器なし			電気温水器あり			K	L	M	電気温水器なし		電気温水器あり	
							G	H	J	G	H	J				N	P	N	P
LDAS050A型	500	475	785	750	460	100	-	100	300	-	-	380	363	530					
LDAS060A型	600	520	796	750	575	125	100	95	300	-	145	380	480	530	150	330	40	470	
LDAS060B型			846	800					350	-	250	430	580						
LDAS075A型	750	545	796	750	725	100	95	300	-	220	380	630	530						
LDAS075B型			846	800				350	-	250	430	580							

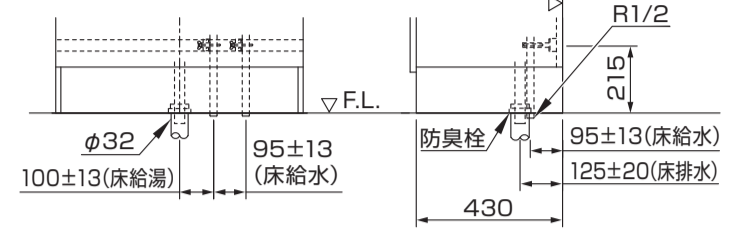
壁給水の場合



床給水の場合

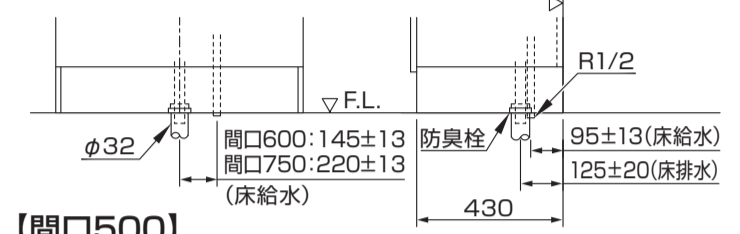
【間口600・750(電気温水器なし)】

止水栓品番 LT6B1 1セット(*2個入り)



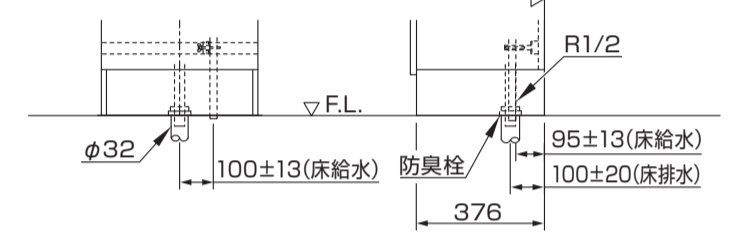
【間口600・750(電気温水器あり)】

止水栓品番 LTL4D15U(*別売品) 1個



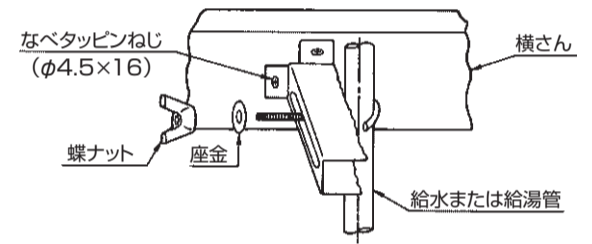
【間口500】

止水栓品番 LT6BR 1個



【給水・給湯管の固定】

*給水・給湯管を横さんにパイプバンドで確実に固定してください。



化粧鏡

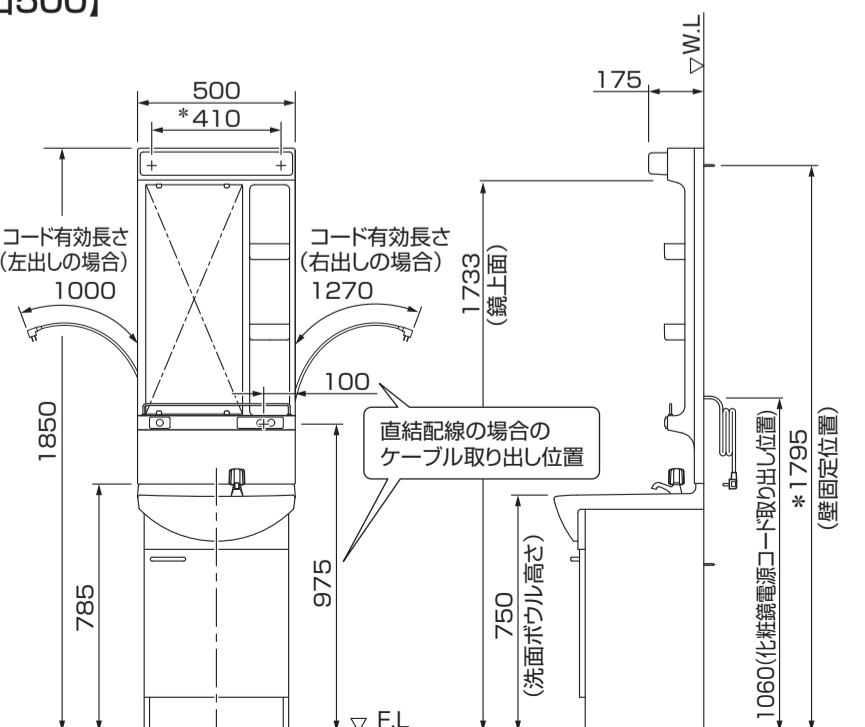
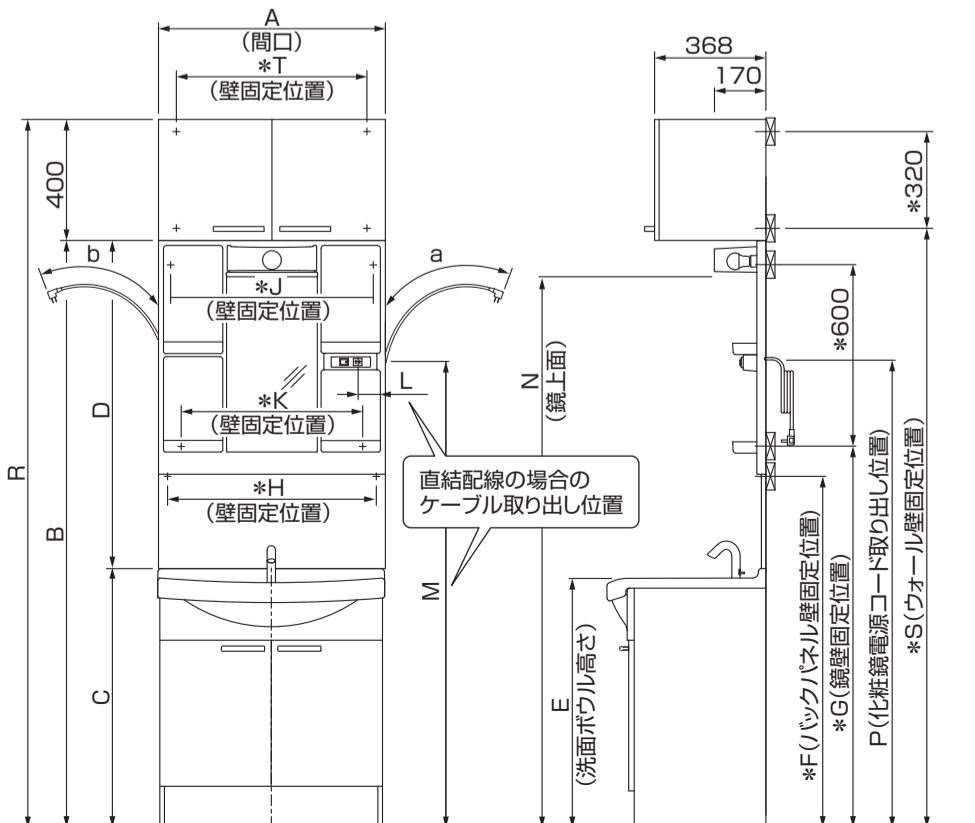
一面鏡 【間口600・750】

- 間口600・750の一面鏡電源コードは、上部からの取り出しもできます。

製品品番	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P	a	b
LMAS060A型	600	1850	796	1054	750	1060	1170	537	520	450	50	1450	1730	1460	1150	700
		1900	846		800	1110	1220					1500	1780	1510		
LMAS060B型	600	1750	796	954	750	960	1070	537	520	450	50	1350	1630	1360	1150	700
		1800	846		800	1010	1120					1400	1680	1410		
LMAS075A型	750	1850	796	1054	750	1060	1170	687	670	600	90	1450	1730	1460	1150	550
		1900	846		800	1110	1220					1500	1780	1510		
LMAS075B型	750	1750	796	954	750	960	1070	687	670	600	90	1350	1630	1360	1150	550
		1800	846		800	1010	1120					1400	1680	1410		

ウォールキャビネット

【間口500】



化粧鏡

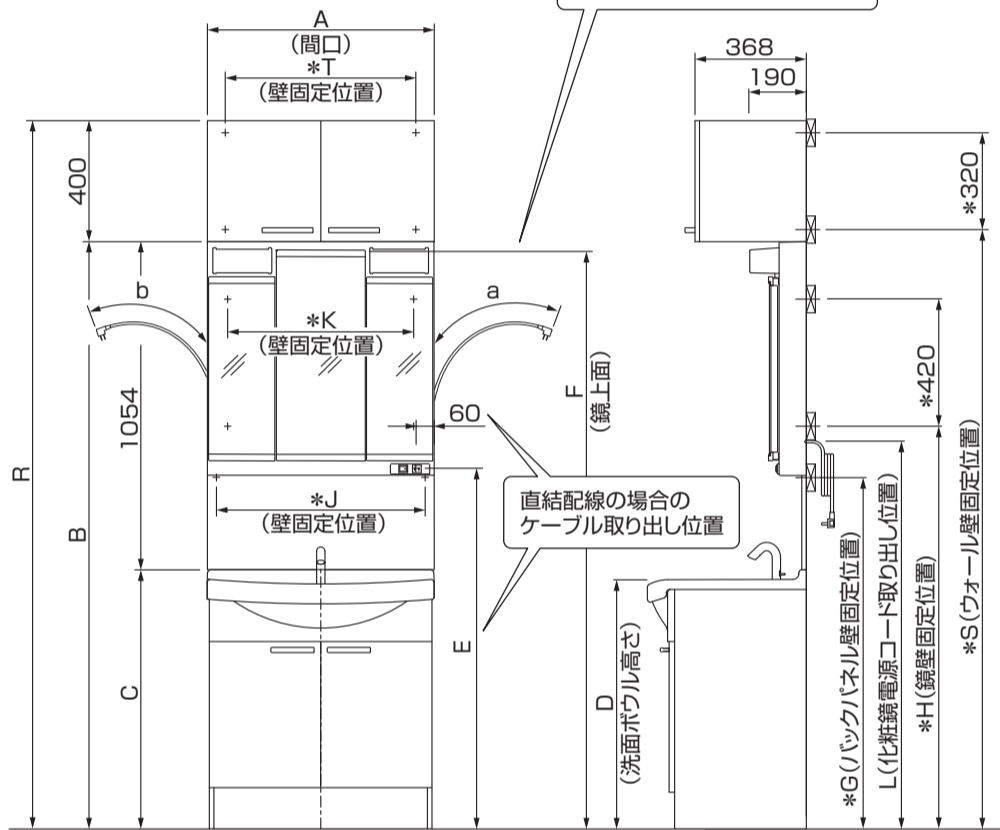
二・三面鏡 【間口600・750】

●電源コードは、上部からの取り出しもできます。

製品品番	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	a	b
LMASO 60A2型	600	1850	796	750	1100	1710	1060	1240	537	445	1190	1150	700
		1900	846	800	1150	1760	1110	1290			1240		
LMASO 75A3型	750	1850	796	750	1100	1800	1060	1240	687	615	1190	1150	550
		1900	846	800	1150	1850	1110	1290			1240		

ウォールキャビネット

A	R	S	T
600	1850	1890	480
	1900	1940	
750	1850	1890	630
	1900	1940	



3. 付属部品明細

【洗面化粧台】

排水トラップ 1個	給水ふた (めっき管用) 自動水栓<間口500> : 1個 単水栓 : 1個 上記以外 : 2個	排水ふた (φ32用) 1個	防臭栓 1個	壁固定用座付タッピンねじ (φ5.2×55) 2本
底板固定用トラスタッピンねじ (φ3.5×12) 間口500 : 3本 4本	取扱説明書 (保証書付) 1冊	パイプバンド(自動水栓(床給水)のみ) 間口600/750 : 1個 間口500 : 1個		

【化粧鏡 LMAS060/075型】

化粧鏡壁固定用座付タッピンねじ (φ4.5×50) 4本	化粧キャップ 一面鏡 : 2個 二・三面鏡 : 4個	電球形LEDランプ 一・二面鏡 : 1個 三面鏡 : 2個	照明カバー 一・二面鏡 : 1個 三面鏡 : 2個	バックパネル 1個	バックパネル壁固定用座付タッピンねじ (φ5.0×55) 2本	化粧キャップ 2個
---------------------------------	----------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------	--------------	------------------------------------	--------------

【化粧鏡 LMAS050型】

壁固定用なべタッピンねじ (φ4.5×50) 2本	ガードバー 1本
------------------------------	-------------

【ウォールキャビネット】

壁固定用座付タッピンねじ (φ5.2×55) 4本	バックイン 1個
------------------------------	-------------

自動水栓の場合

【スペーサー LO210】

スペーサー 1個	トラスタッピンねじ (φ3.5×30) 2本	注意チラシ 1枚
-------------	---------------------------	-------------

4. 使用条件

●水栓金具の使用条件は水栓金具に付属の施工説明書を参照する

5. 取り付け条件

警告

- 化粧鏡は必ず壁に設置する
窓の前などに設置できません。
- 化粧鏡・キャビネットの壁固定部分には、設置壁の裏面に固定用木さんを入れる
- 木さんを使用せず、下地材を合板とする場合は、設置壁の全面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付ける(建築工事)

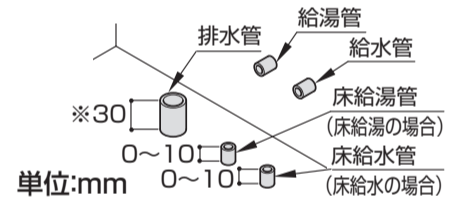


必ず実行

- コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじにあったプラグ(引き抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込む
- プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備する
※プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。

商品が落下・転倒しけがをするおそれがあります。

- 洗面化粧台、化粧鏡を取り付ける床面および壁面はクロス貼りなどの仕上げを施す
- 給水管を所定の位置に取り出す
- 器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す
- 排水管を所定の位置に仕上げ面より下記要領で立ち上げる
(排水管はVU40・VU50または、VP40・VP50を使用する)



※電気温水器をセットする場合は、80mmで立ち上げてください。

※排水管と仕上げ面の取り出し穴にすき間がある場合は、シリコン系シーラ材(現場調達)でシールしてください。

電気工事

化粧鏡を直結配線にする場合

- あらかじめ電気工事業者様にお願いして、右図のように電源ケーブルを取り出ししておく
※取り出し位置は設置寸法を参照してください。



警告



禁止

電源コードを切断して、電源ケーブル(VVF)と直接つながらない
発火・火災の原因になります。

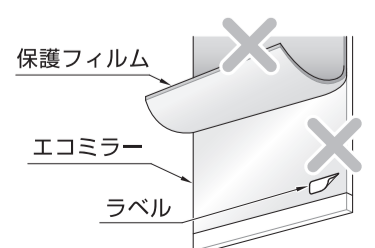


必ず実行

配線工事は、関連する法令・規定に従って、必ず電気工事士の「有資格者」が行う
正しい作業を行わないと、ショート・感電・火災の原因になります。

6. 化粧鏡の設置上のご注意

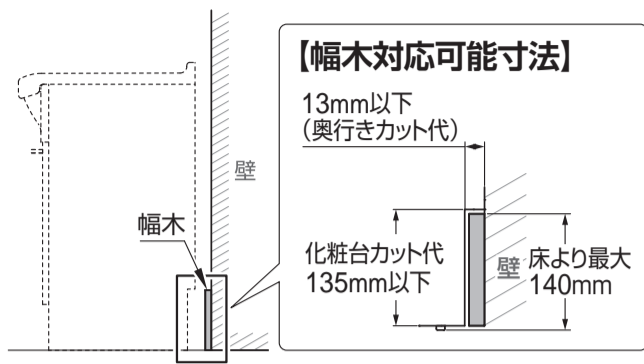
- 鏡の取り出し、取り付けなどは必ず2人で作業する
- 鏡を床に置く場合は、必ず緩衝材(ダンボール等)を敷く
- ご使用前に傷が付くおそれがあるため、エコミラーの保護フィルムとラベルは、はがさない(LMAS*****C型)



7. 取り付け前の確認

確認1 後壁に幅木はありますか？

→ 壁に幅木がある場合は、下記寸法以下であれば洗面化粧台後部をカットできます。



確認2 アクアオート(自動水栓)を取り付けますか？

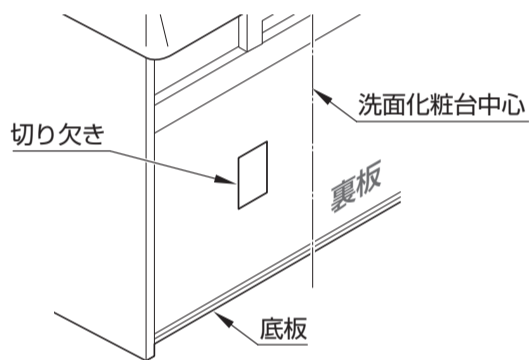
→ 自動水栓の場合、裏板に壁付コンセントの切り欠きをしてください。

※ 壁付コンセントの位置を確認したあと、コンセントと裏板の切り欠きが合うように裏板を切り欠いてください。

確認3 魔法びん電気即湯器・湯ぽっと(小型電気温水器)を取り付けますか？

→ 取り付ける場合は、アースターミナル付きコンセントが必要です。必要に応じて裏板を切り欠いてください。

※ 壁付コンセントの位置を確認したあと、コンセントと裏板の切り欠きが合うように裏板を切り欠いてください。



8. キャビネットの取り付け

※ キャビネットはひきずらないでください。

1 給・排水穴の穴あけ

給水・排水の位置に合わせて、化粧台に給水穴・給湯穴(φ30~50×2カ所)、排水穴(φ50)を穴あけする

※ 壁排水の場合は現場の配管に合わせて穴あけしてください。

壁排水管(L0211)の場合

● 壁排水管(L0211)に付属のチラシを参照する

電気温水器の場合

● 電気温水器に付属の施工説明書を参照する

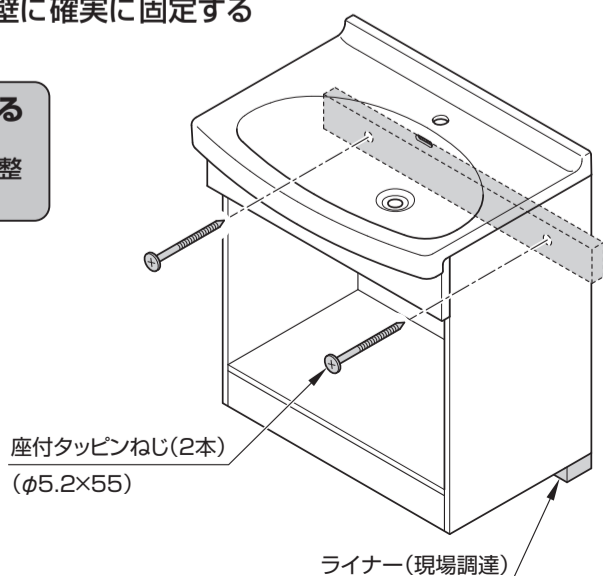
2 化粧台の取り付け

付属の壁固定用ねじ(2本)で壁に確実に固定する

重要

商品は水平・垂直に取り付ける

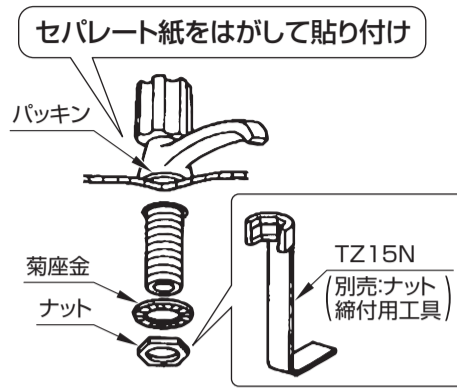
※ 床・壁面に不陸がある場合は、ライナー(現場調達)を入れて調整してください。



9. 配管の接続

1 水栓の取り付け

単水栓の場合



エコシングル混合水栓・アクアオート(自動水栓)の場合

● 水栓金具に付属されている施工説明書を参照する

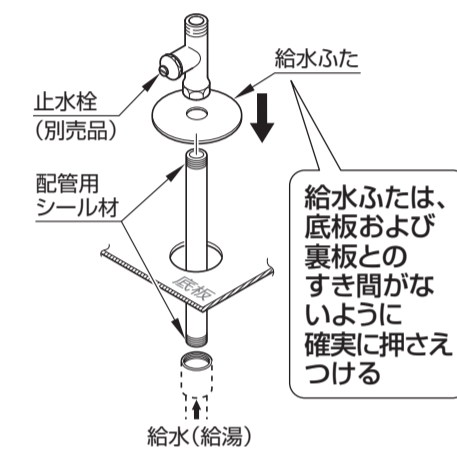
電気温水器付きアクアオート(自動水栓)の場合

● 水栓を取り付けず、先に進む

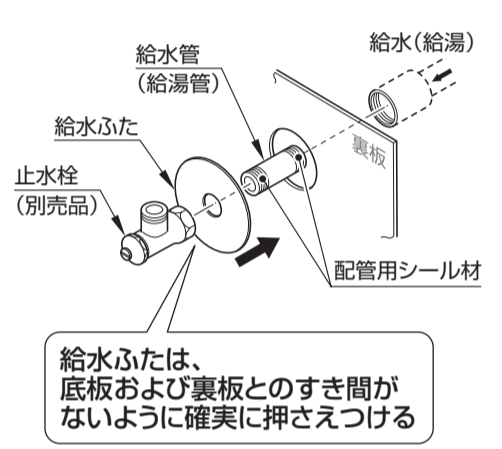
2 止水栓の取り付け

- 止水栓は工具で確実に締め付ける
- 樹脂配管対応はTSAS4BJZAに付属されている施工説明書を参照する

床給水の場合



壁給水の場合



※ 排水ふたと重なる場合は、重なる部分をカットしてください。

重要

止水栓は洗面ボウル高さを確認して指定の止水栓を使用する

壁排水管(L0211)の場合

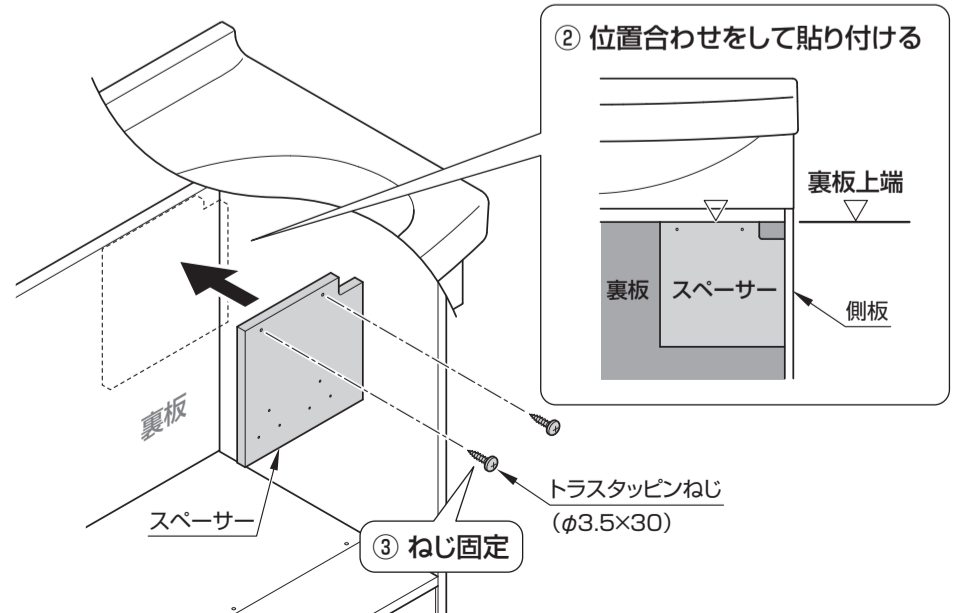
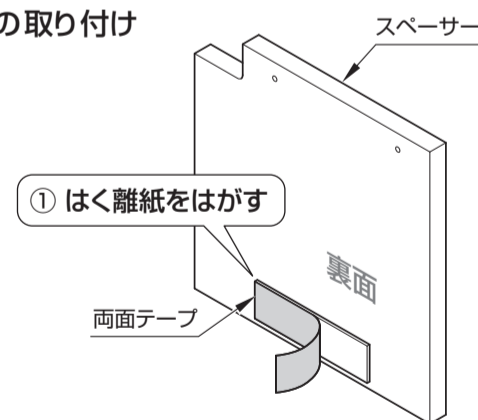
● 壁排水管(L0211)に付属のチラシを参照する

3 機器類の取り付け

● 機器類に付属されている施工説明書を参照する

電気温水器付きアクアオートの場合

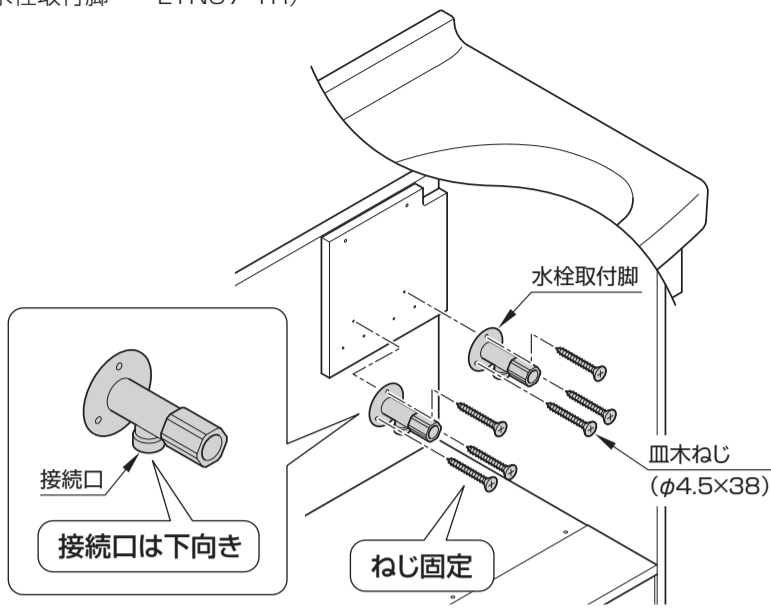
1 スペースの取り付け



裏面に続く →

2 水栓取付脚の取り付け

- スペースの下穴に合わせて水栓取付脚をねじ固定する
※ 接続口が下向きになるように固定してください。
(水栓取付脚……LTN57-1R)



3 水栓の取り付け

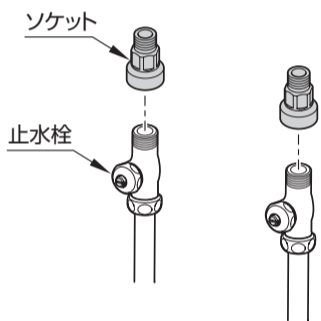
- 水栓金具に付属されている施工説明書を参照する

4 電気温水器の取り付け

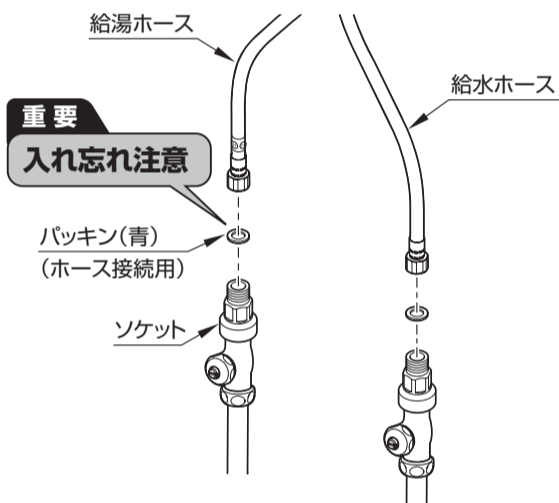
- 電気温水器に付属されている施工説明書を参照する

4 給水・給湯ホースの接続

1 ソケットの固定

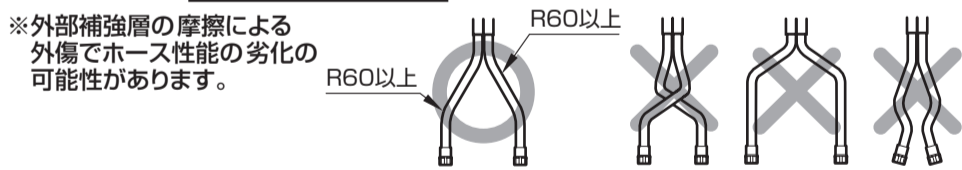


2 給水・給湯ホースの接続



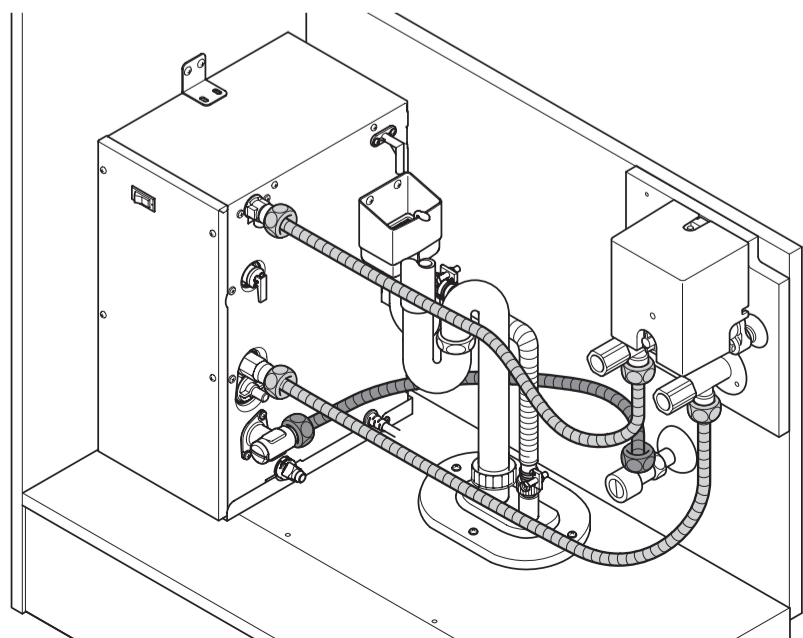
給水・給湯ホース施工上の注意

- 給水・給湯配管は動かないように確実に固定する
※ 給水・給湯ホースがゆるむ原因となります。
- ホースは必要以上の力で曲げて折らない
最小曲げ半径は60mmより小さく曲げない
※ ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や、破損、水漏れのおそれがあります。
- ホースを水栓本体端面から極端に屈曲しない
- ホースを無理に引っ張らない
- ホース同士の不要な接触は避ける



電気温水器付きアクアオート(自動水栓)の場合

- 排水トラップの取り付け後に連結管を取り付ける

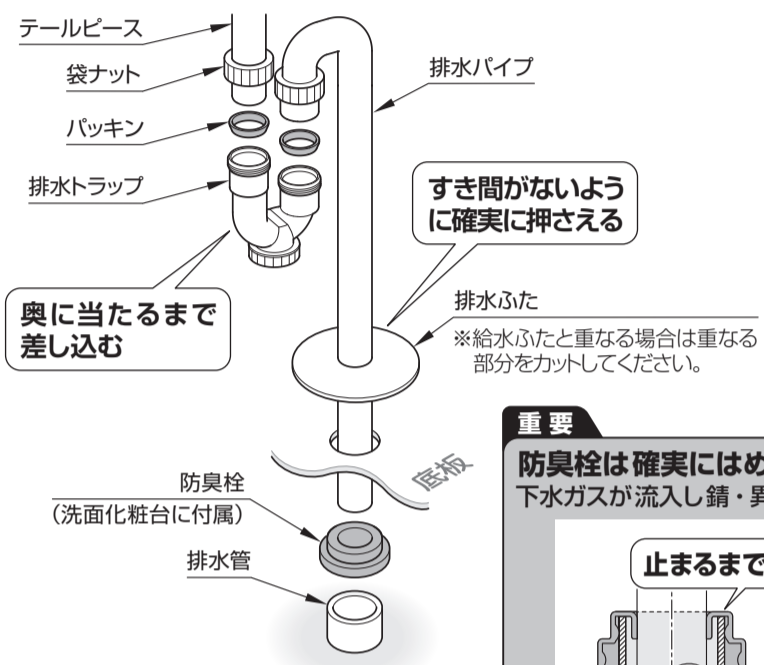


5 排水トラップの取り付け

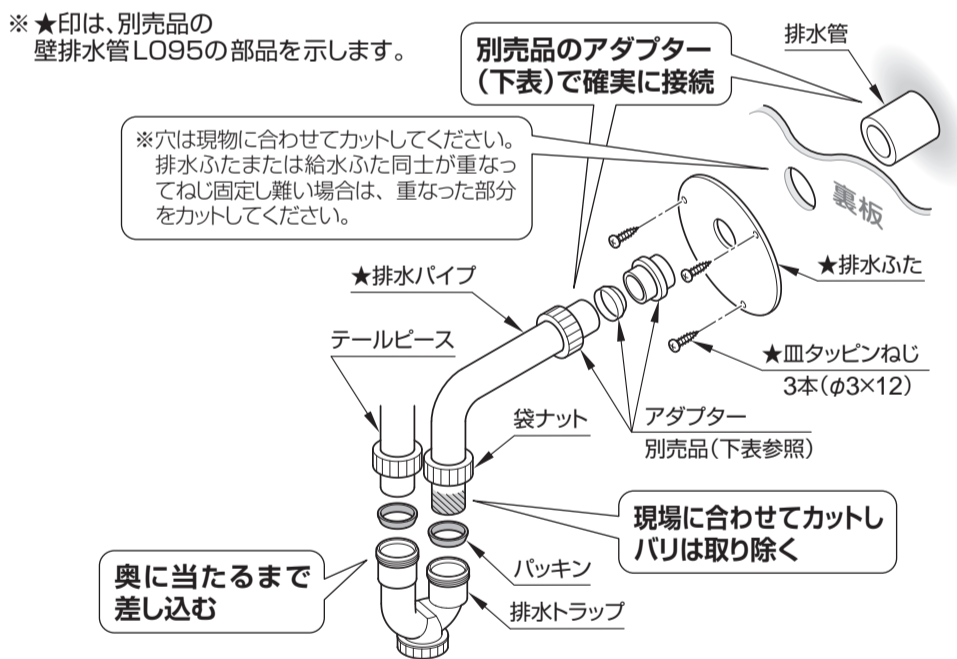
注意

- パッキンの方向に注意する 【床排水の場合】 【壁排水の場合】
※ パッキンは下図の位置に取り付けてください。
必ず実行
- ナットは手で確実に締め付け、工具は使用しない
水漏れの原因になります。

床排水の場合



壁排水の場合



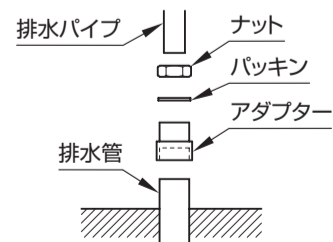
壁排水管(L0211)の場合

- 壁排水管(L0211)に付属のチラシを参照する

アダプター接続の場合

- 集合住宅・高層住宅の場合、排水管と排水パイプを別売のアダプター(下表)で確実に接合する

アダプターの種類	サイズ
T1122R(鋼管用)	R1¼
T1122J(塩ビ管用)	30用
L048(塩ビ管用)	40用
L049(塩ビ管用)	50用

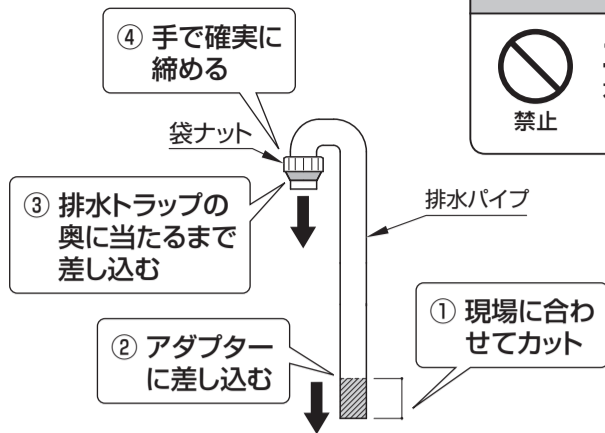


- ※ 上記品番はアダプター・パッキン・ナットのセット品番です。
T1122Jは排水パイプのカットが必要です。

注意

- 接着剤は必ず、アダプターと排水管の両方に塗布する
片側のみ塗布した場合、水漏れの原因になります。
必ず実行

<T1122J使用時の取り付け>



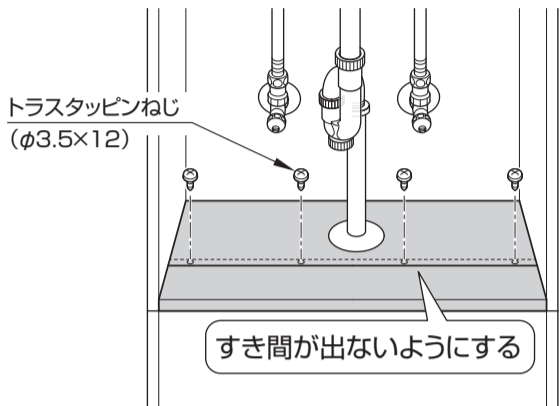
⚠ 注意

工具は使用しない
水漏れの原因になります。

禁止

6 底板の固定

間口500 : 3本
間口600/750 : 4本



7 水栓金具の給水・給湯接続

- 給水・給湯の接続は、水栓金具に付属の施工説明書に従い接続する

魔法びん電気即湯器・湯ぽっと(小型電気温水器)設置の場合

- 止水栓の前に設置しない
- 本体スイッチが前板と干渉しない位置に設置する
- ※ 給水・給湯の接続は付属の施工説明書に従い接続してください。

10. 化粧鏡の取り付け

1 化粧鏡取り付け前

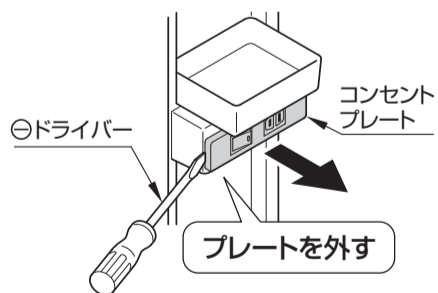
⚠ 警告

- 必ず実行
- 配線工事は、関連する法令・規定に従って、必ず電気工事士の「有資格者」が行う正しい作業を行わないと、ショート・感電・火災の原因になります。

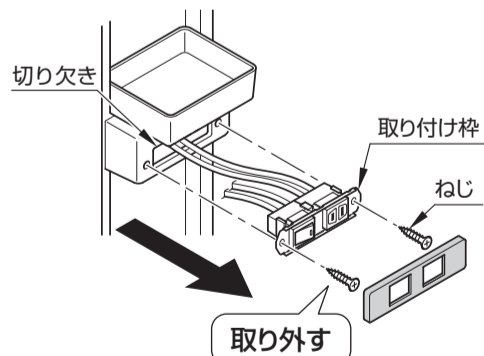
直結配線の場合

※ 機種・仕様により外観形状が異なります。

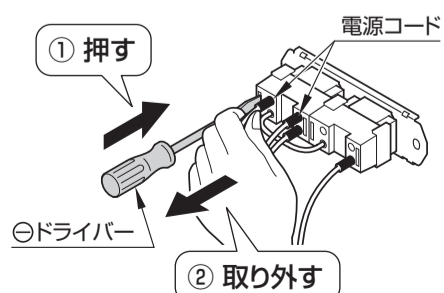
1 プレートを外す



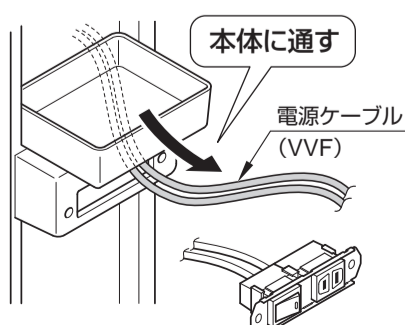
2 取り付け枠を化粧鏡から取り外す



3 電源コードを取り外す



4 電源ケーブル(VVF)を本体に通す



重要

他の電源を引っ張らないように注意する

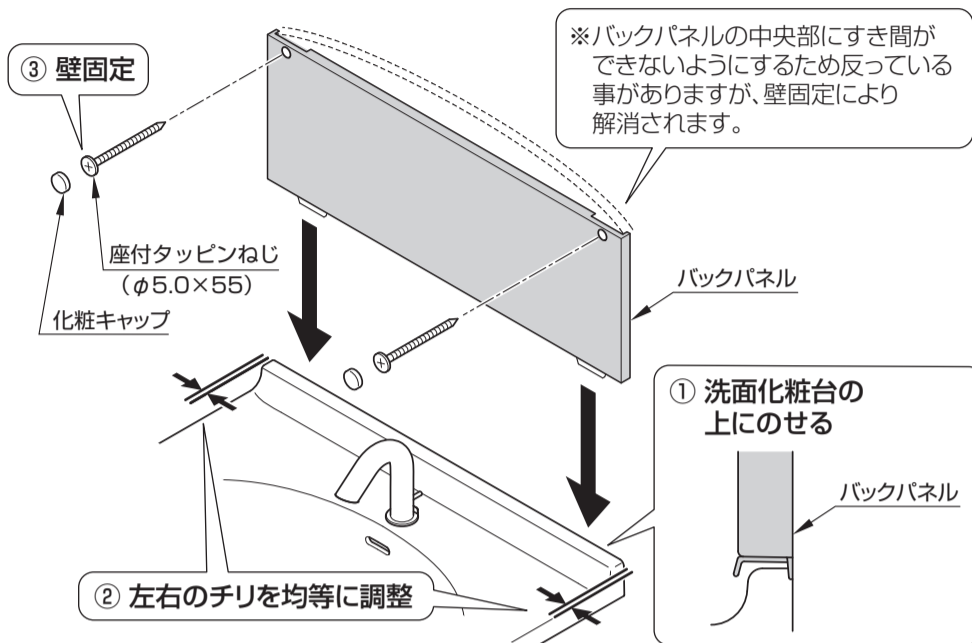
2 バックパネルの取り付け

間口600/750の場合

- バックパネルが水平になるように固定する

重要

取り付け位置がゆがんでいる場合は、壁固定用ねじのねじ込み代を調整しながらねじ込む
※バックパネルが変形するおそれがあります。

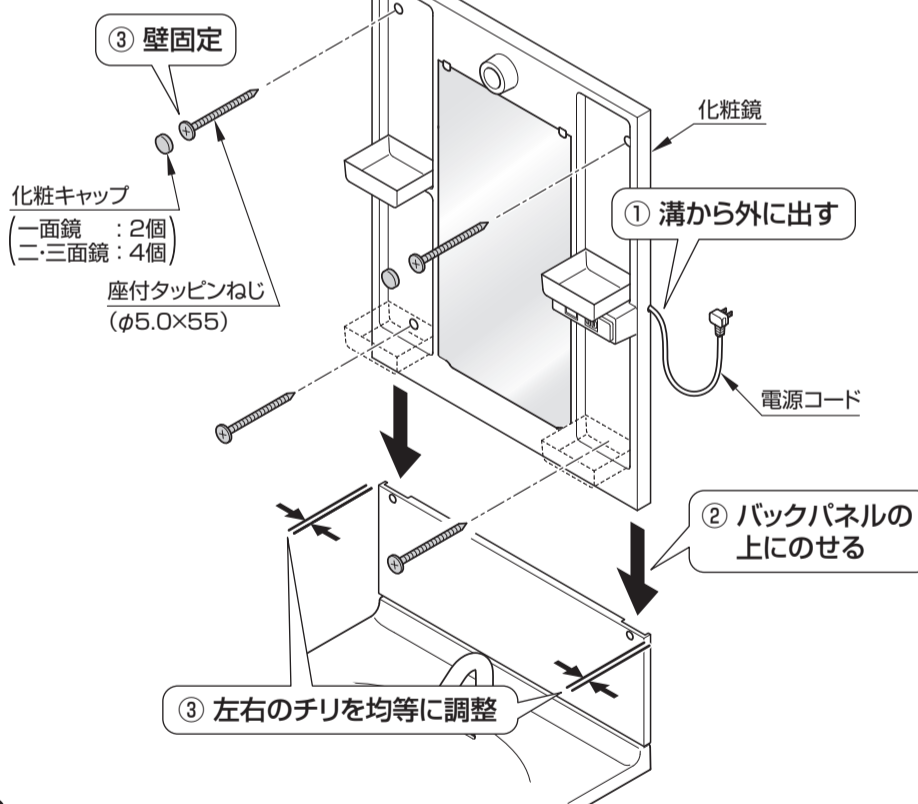


※バックパネルが化粧台にのらない場合は、化粧台壁固定ねじのねじ込み代を調整しながら取り付けください。

3 化粧鏡の取り付け

間口600/750の場合

1 化粧鏡を壁に固定する



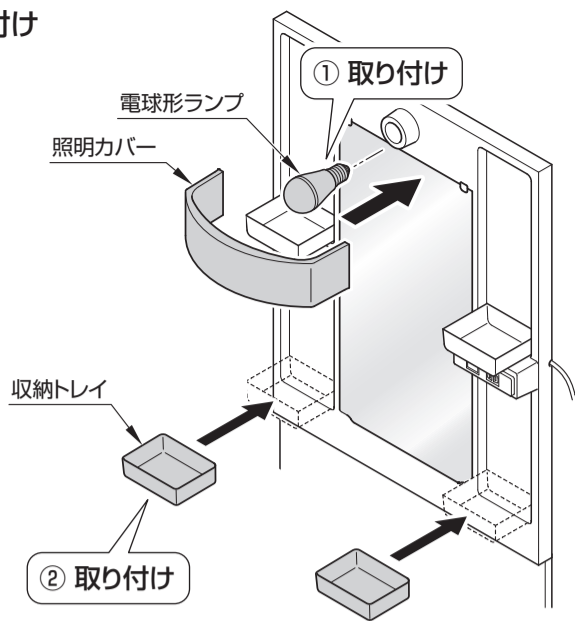
重要

- 取り付け位置がゆがんでいる場合は、壁固定用ねじのねじ込み代を調整しながらねじ込む
※化粧鏡が変形するおそれがあります。
- 壁とのすき間が大きい場合は、化粧鏡の裏面にライナー(現場調達)を入れる

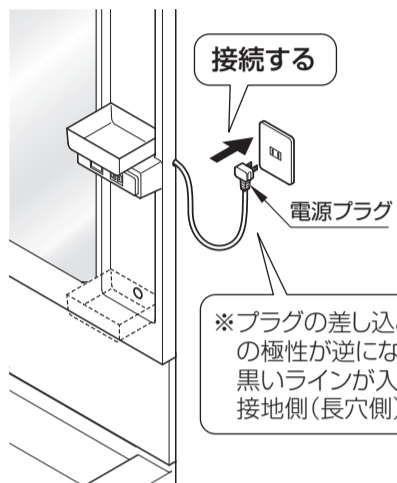
⚠ 警告

- 必ず実行
- 電源コードは必ず切り欠き部から出す挟み込むと発熱・火災の原因になります。
 - 取り付け後、すべてのねじが確実に固定されていることを確認する商品が落下してけがをするおそれがあります。

2 照明・収納トレイの取り付け



3 コンセントの接続



警告

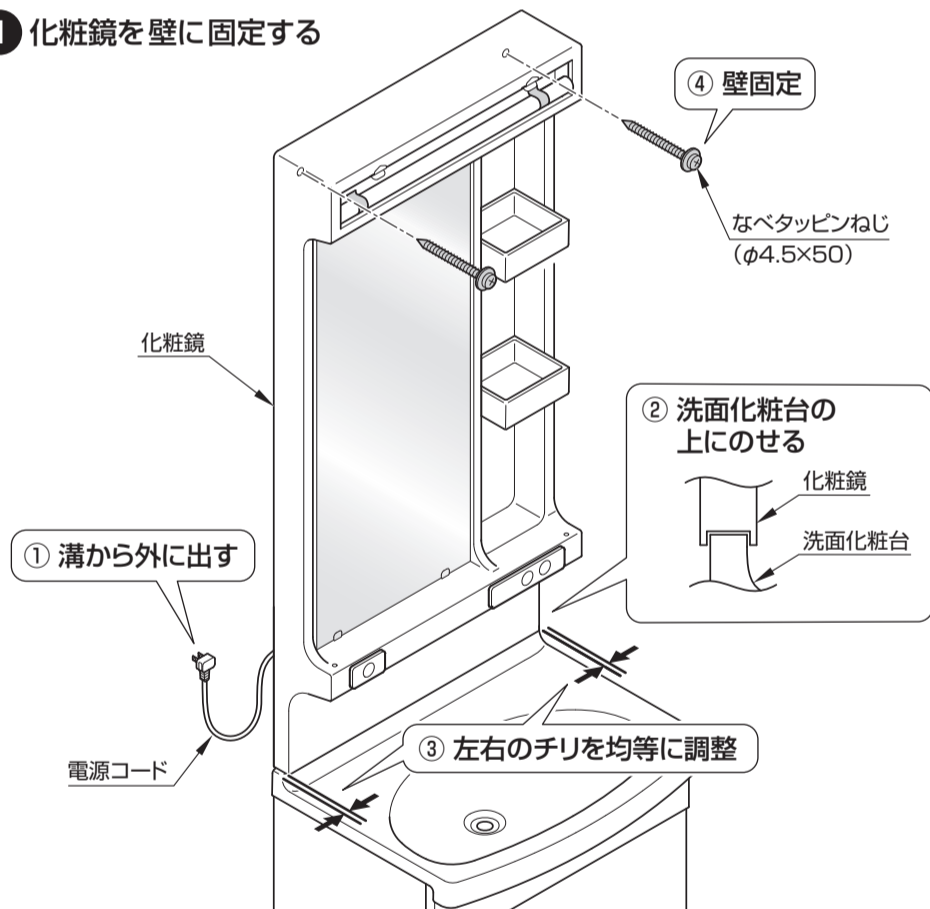
電源コードを束ねたままにしない
電源コードが発熱して火災の原因になります。

禁止

※プラグの差し込み方向によってはコンセントの極性が逆になりますので、電源コードの黒いラインが入っている側をコンセントの接地側(長穴側)に接続してください。

間口500の場合

1 化粧鏡を壁に固定する



重要

- 取り付け位置がゆがんでいる場合は、壁固定用ねじのねじ込み度を調整しながらねじ込む
※化粧鏡が変形するおそれがあります。
- 壁とのすき間が大きい場合は、化粧鏡の裏面にライナー(現場調達)を入れる

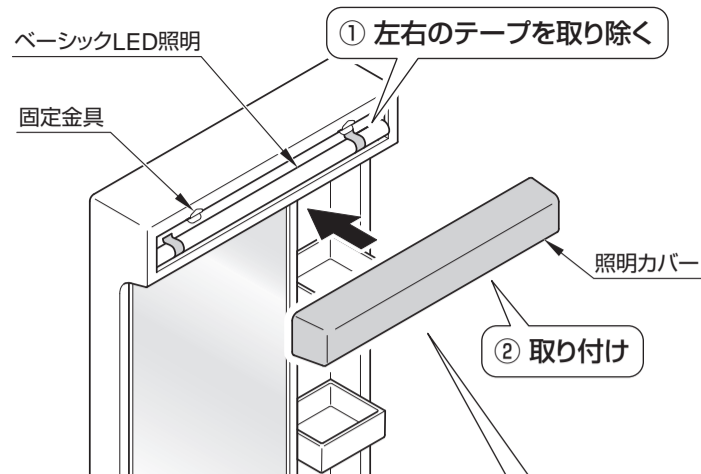
警告



必ず実行

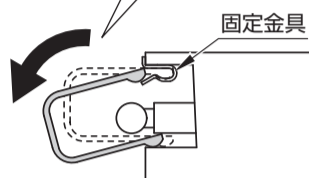
- 電源コードは必ず切り欠き部から出す
挟み込むと発熱・火災の原因になります。
- 取り付け後、すべてのねじが確実に固定されていることを確認する
商品が落下してけがをするおそれがあります。

2 照明の取り付け



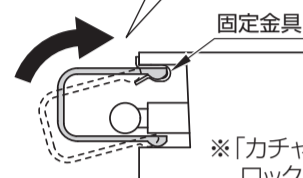
<はずしかた>

カバーの上側を矢印の方向に回転させる



<取り付けかた>

カバーの上側を矢印の方向に押し込んで固定金具(2カ所)に確実に押し込む



※「カチャ」と音がして、ロックされます。

3 コンセントの接続

警告

電源コードを束ねたままにしない
電源コードが発熱して火災の原因になります。

禁止



※プラグの差し込み方向によってはコンセントの極性が逆になりますので、電源コードの黒いラインが入っている側をコンセントの接地側(長穴側)に接続してください。

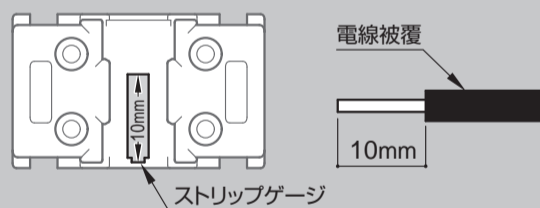
4 化粧鏡取り付け後

直結配線の場合

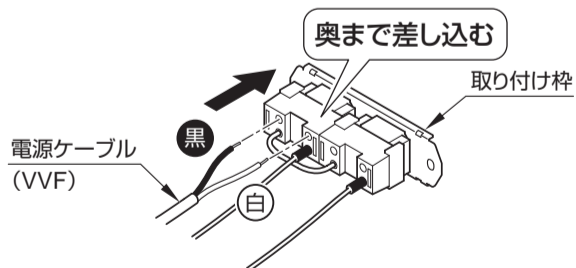
※機種・仕様により外観形状が異なります。

重要

電源ケーブル(VVF)の電線被覆をむく長さはコンセントのストリップゲージに合わせる

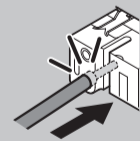


1 電源ケーブル(VVF)を奥まで確実に差し込む

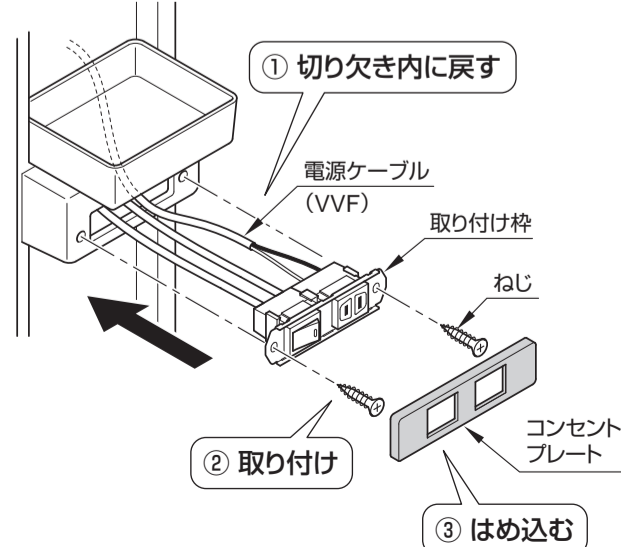


重要

電線が抜けないことを確認する

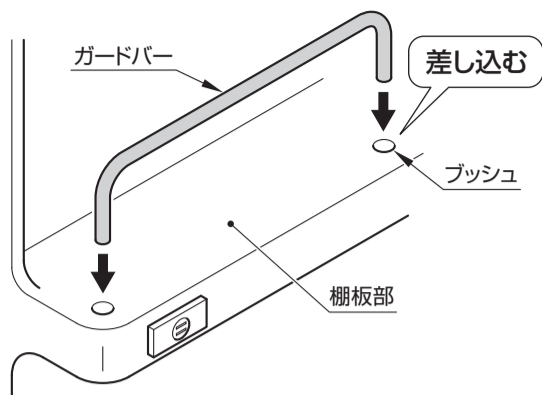


2 取り付け枠・コンセントプレートの固定



5 ガードバーの取り付け

間口500の場合

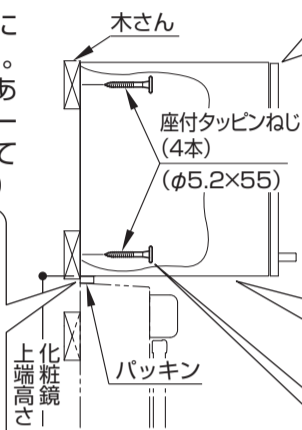


11. ウォールキャビネットの取り付け

※商品は水平・垂直に取り付けてください。(壁面にゆがみがある場合は、ライナー(現場調達)を入れて調整してください。)

化粧鏡の上部に設置する場合

1 底板下面奥側に付属のパッキンを必要な長さにカットして貼り付けてください。



2 ウォールキャビネットをセットする
※化粧鏡にのせないでください。必ず化粧鏡上端高さ(設置寸法)に合わせて、ウォールキャビネットを設置してください。
※化粧鏡とのすき間はパッキンで埋まります。

3 位置を合わせる
※水平・垂直方向の位置合わせをしてください。

4 壁固定用ねじで固定する

12. 取り付け完了後の確認と清掃

1 扉の調整

⚠️ 注意



電動ドライバー禁止

部材が破損し扉の脱落につながり、けがをするおそれがあります。

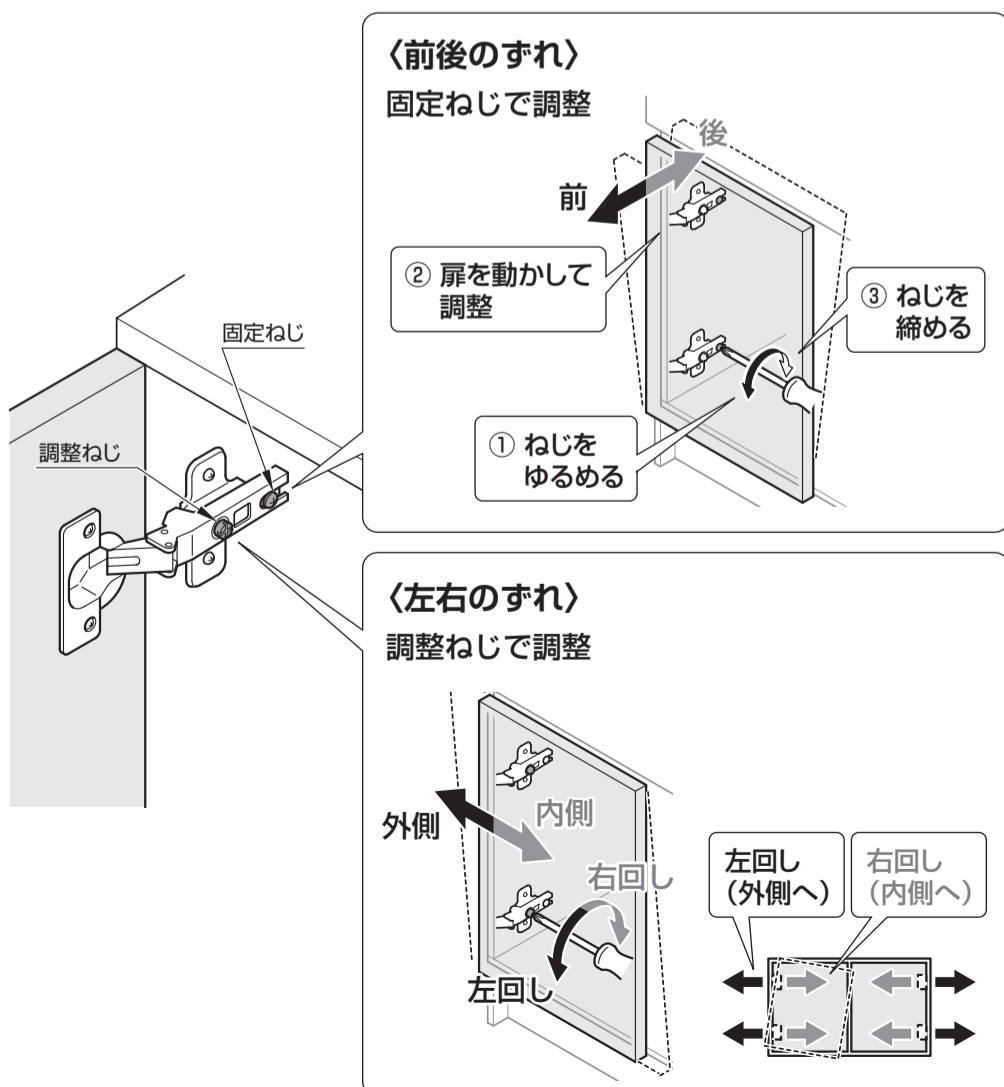


調整後、固定ねじをしっかりと締め付けて、ゆるみがないことを確認する
扉が外れて、けがをするおそれがあります。

必ず実行

重要

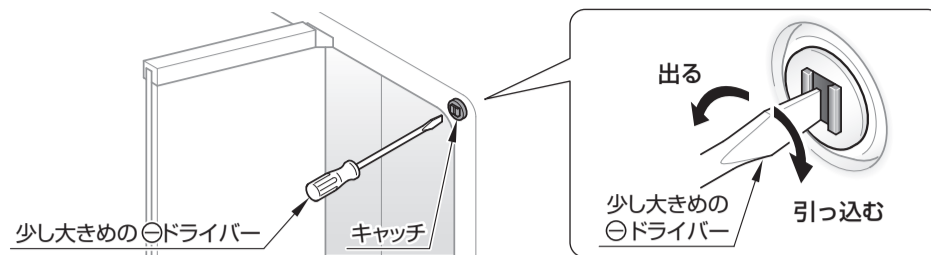
- 扉の傾き・がたつきなど、丁番の緩みがないことを確認し、必ず調整する
- すべての商品を取り付け完了後に確認する



2 化粧鏡の調整

● 袖鏡が確実に閉まるか確認する

※ 閉まらない場合は、下図のようにキャッチの高さを調整してください。



3 取り付け完了後の確認

- 商品が壁に確実に固定されていることを確認する
- 扉の傾き・がたつきなど丁番のゆるみがないことを確認する
- 通水し、配管内部の詰まり、配管接続部の水漏れ、ボウル内に汚れのないことを確認する
- 照明スイッチを入れて照明が点灯することを確認する
- コンセントに通電することを確認する

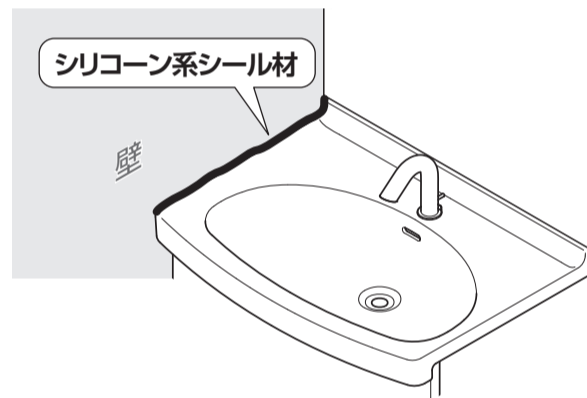
4 清掃・その他

- 商品に付いた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたく絞ってふき取る
その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからぶきする

重要

有機溶剤(シンナー・アセトン)などの使用は表面を変色・変質させるので、絶対に使用しない

- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどで遮る
- 現場判断で洗面ボウルと壁とのすき間を埋める場合は、シリコン系シーラ材(現場調達)を使用する

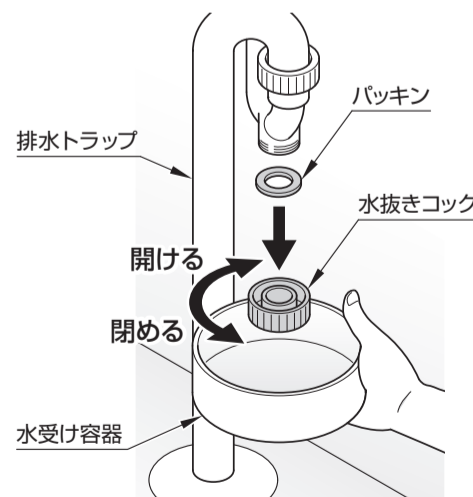


13. 寒冷地用の水抜き方法

- 凍結が予想される時期に組み立てされた場合は、水抜きを行う
※ お客様にも水抜き方法をご説明ください。
※ 寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けています。
※ 洗面化粧台の内部から、収納物を取り出してください。

排水トラップの場合

- 水受け容器を置き、排水トラップの水抜きコックを開ける
※ 水受け容器が入らない場合は、ポリ袋をご使用ください。
- 水抜き後、水抜きコックを閉じる



⚠️ 注意

水抜きコックは手で確実に締め付け、工具は使用しない
必ず実行 水漏れの原因になります。

水栓の場合

- 水栓金具に付属されている施工説明書を参照する